



海南東ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

第 1586 回例会 ガバナー公式訪問 平成 21 年 9 月 7 日(月)

19:00～ 海南商工会議所 4F

1. 開会点鐘
2. 国歌斉唱 「君が代」
3. ロータリーソング 「奉仕の理想」
4. お客様紹介

2640 地区ガバナー	村上 有司 様
2640 地区代表幹事	吉田 透 様
2640 地区ガバナー補佐	川村 克人 様
5. ビジター紹介

田辺 RC	田中 陽 様
青少年交換学生	ティヤゴ 君
6. 出席報告

会員総数 67 名 出席者数 50 名
出席率 74.63% 前回修正出席率 77.61%
7. ロータリーリード唱和
職業奉仕委員長 山田耕造君

- 一、ロータリーで友情の輪を広げよう
- 一、各自の職業に誇りをもって、道徳的水準を高めよう
- 一、個人生活や事業活動で、奉仕の理想を実践しよう
- 一、奉仕の理想のもとに世界の人々と交わり、平和と親善を推進しよう

8. 会長スピーチ 会長 花畑 重靖君

みなさん、こんばんは。
村上ガバナー様、吉田代表幹事様、田中幹事様、川村ガバナー補佐様。お忙しい中、公式訪問におこし下さいましてありがとうございます。交換学生のチャゴ君、ようこそお越し下さいました。



海南東ロータリークラブは新年度(7月)に入ってから、2名の新入会員と1名の再入会員です。理事会で承認されている新入会員は、3名です。12月いっぱいでの退会申し出会員は1名

で、この方の事業で新商品(ブランド品)に力を入れたので忙しくなるためとのことでした。また、時間的に余裕が出来たら再入会することです。退会理由には、いろいろあると思います。急がしいとか、体調が悪いのでとかです。このため、時間的に余裕が出来たらとか、体調が良くなれば再入会を勧めます。会員増強・退会防止、それに再入会への進めを加えさせて頂いたらと思っています。

2010年1月7日は、当クラブの35周年記念新春夫婦例会です。退会会員で在籍5年以上の会員に招待状を出し、再入会を呼びかけることに決まりました。

また、高齢の会員の方には、ゴールド会員制度の検討も行っています。クラブの役や出席は免除することで出来るだけ長く在籍していただけるような制度にしたいと考えています。

私の方針は「楽しく、明るく、健康で、みんななかよく輪になって」です。クラブの同好会へも積極的に参加いただき、いつまでも会員に残って頂けるようお願いいたします。ありがとうございました。

9. 幹事報告 幹事 寺下 卓君

- メーキャップ
平城京 RC 花畑 重靖君 9/3
- 例会場変更のお知らせ
粉河 RC
9月16日(水) → 9月16日(水)
12:30～ 紀の川市商工会 2F 会議室
- 休会のお知らせ
海南 RC 9月23日(水・祝)
9月30日(水)

10. ガバナースピーチ

一ロータリーの“変革と進歩”一

国際ロータリー第2604地区
ガバナー 村上 有司様

1905年にポール・ハリスらによって設立されたシカゴロータリークラブは、「親睦と互惠取引」の二つを目的(目標)としていた。しかし、これに疑問をなげかけるメンバーが創立直後からいた。その代表格が、後



四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか
- ②好意と友情を深められるか
- ③みんなに公平か
- ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)
電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長: 花畑 重靖 幹事: 寺下 卓 SAA: 名手 広之

<http://www.kainaneast-rc.jp>

E-mail: info@kainaneast-rc.jp

に社会奉仕の父といわれた特許弁護士ドナルド・カーターである。彼は、「今のままであれば、単なる仲良しクラブに終わってしまう。もし、将来発展しようと考えるならば、会員以外の人の役に立つようなことをしなければならぬ。」と解いた。多く賛同を得て、クラブの目的（目標）に「公共奉仕（社会奉仕）」を付け加え、シカゴ市に公衆便所を寄付する。奉仕活動をした。シカゴロータリークラブのスタートから、2年目の1907年のことであります。

ロータリークラブは、互惠取引の流れをくむ「職業奉仕」と新たに付け加えられた「社会奉仕」を両輪として、100年余の年月を走り続けてきた。ドナルド・カーターの予言通り、社会奉仕を目的（目標）に取り入れたことによって今日の大発展を見たのであるが、その一方で、“職業奉仕”を中心に考える一派との間で、路線争いを生むことになった。おかげさ言えば、ロータリーの歴史は、この両者の抗争と拮抗の歴史であるといつてよい。最も熾烈な争いは、1918年頃から、米国内の小児麻酔救済運動をめぐる繰りひろげられた。理論派と行動派の抗争である。この時は、ロータリーの寛容の精神で“決議23-34”をもって終結したが、現在も立場の違いによる路線争いは続いています。

そもそも、ロータリーの「社会奉仕」は、「職業奉仕（倫理）」の延長線上で考えられた。従って、それは、“I serve”であり、個人の善意の表現で、“隠匿”を原則とした（決議23-34第6項7、2等）。この点で「他の奉仕団体（例えば、ライオンズクラブ）との違いがある」と強調され、その考えは今も有力に主張されている。しかし、時代の変遷と共に社会のニーズにも大きな変貌があり、これに対応するロータリーの社会奉仕にも変化が見えている。単に、個人の善意的行為だけで事足りる時代は過ぎ、社会全般がロータリーに一層大きな奉仕を期待するようになってきているのである。ロータリーに自身、この要望をある程度受け入れられる組織に成長したこともあり、「社会の要望に応えることが義務である」と考えるようになってきた。そのため社会奉仕は際限なくグローバル化し、「ロータリーは奉仕団体である」と錯覚されるようにすらなってきた。しかし、それは本来の“ロータリー精神”からは離れることになると思うが、これも時代の変革として受け止めるべきなのだろうと思います。

社会奉仕の実現方法についても変化がある。ロータリーの社会奉仕は教育的プログラムを中心に進められてきた。例えば、貧困に苦しむ地域があるとすれば、飲料や水を運ぶのではなく、何故その地域が貧困となったかを考え、その様な社会をなくすために優れた人材を育てることに努力してきた。直後、飲料や水を貧困地に運ぶ奉仕活動は、直裁的で速効性がある。しかし、原因を除去しない限り、この人道的奉仕は際限なく継続しなければならないが、それはロータリーの力

だけでは困難である。最近のロータリーの社会奉仕は、どちらかといえば人道的プログラムに比重がかかり過ぎている気がする。ポリオ撲滅運動は、ロータリーの最重要項目として、多額の資金を投入して続けられるグローバルな人道的奉仕活動である。ポリオ撲滅は崇高なプログラムであるが、「終期の見えない泥沼に入った」という批判にも、真摯に耳を傾ける時期が来ているようにも思います。本日は、有難うございます。



11. 委員会報告

○国際奉仕委員会

委員長 柳生享男君

10月15日から、韓国済州島を訪問します。参加者を募集しますので宜しくお願いします。

○青少年委員会

カウンセラー

花田宗弘君

本日のゲストである青少年交換学生のティヤゴ君を歓迎します。

村上ガバナーはじめ、地区役員の皆様とともに歓迎懇親会として友好を深めてください。



12. ロータリーソング

「手に手つないで」

13. 閉会点鐘

次回例会 第1587回例会 21年9月14日(月)

海南商工会議所 4F 12:30~

・お誕生、ご結婚祝い

・社会奉仕委員長会議報告



ニコニコ・BOX

○一般ニコニコ

山田耕造君

緑化センター、ハスの花展で金賞受賞しました。

花畑さん、お世話になりました。

山名正一君

村上ガバナー、川村補佐さん、ようこそお越し下さいました。

本日よろしくお願ひ致します。

平尾寧章君

村上ガバナーご苦勞さまです。

吉田地区代表幹事様、川村ガバナー補佐様、田中幹事様ご苦勞さまです

花畑重靖君

村上ガバナー、吉田代表幹事、川村ガバナー補佐、田中地区幹事様ようこそ

小椋孝一君

おいで下さいました。本日よろしくお願ひ致します。

寺下 卓君

村上ガバナー、公式訪問ご苦勞様です。

中西秀文君

9月は新世代のための月間です